

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 原則として、月曜日、祝日、年末年始(12月28日~1月4日)

プラネタリウム休演日 11月26日 ~27日, 2月24日 ~26日

宇宙劇場休演日 2月10日

入場料

区分 / 金額	個人	団体 (20人以上)	
展示室	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生, 高校生)	100円	80円
プラネタリウム	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生, 高校生)	200円	160円
全天周映画	おとな	400円	320円
	こども (小・中学生, 高校生)	200円	160円
プラネタリウム + 全天周映画	おとな	600円	480円
	こども (小・中学生, 高校生)	300円	240円

宇宙劇場投映開始時刻

曜日 / 時刻	10:00	11:10	12:20	13:30	14:40	15:50
火~金	学習投映 (団体予約優先)	学習投映 (団体予約優先)		学習投映 (団体予約優先)	全天周映画	プラネタリウム
土・日 春・夏・冬休み	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム	全天周映画	プラネタリウム

定員210名, 各回入れ替え制。投映中の入退場はご遠慮ください。
 学習投映は団体予約優先の投映です。団体でご利用の場合は、あらかじめお電話でご予約ください。
 学習投映の番組は幼児用, 小学生用(低学年, 4年生, 高学年), 中学生用を用意しています。
 小・中学校及び幼稚園等の春・夏・冬休み期間中は、火~金曜日と、土・日曜日と同じ投映スケジュールとなります。



© 五藤光学研究所

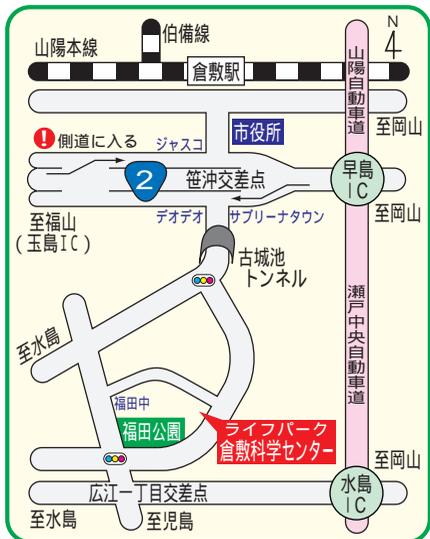
宇宙劇場 プラネタリウム

PLANETARIUM

投映の話題 (今夜の星空解説含む)

み あたら せかい ガリレオが見た新しい世界

Vol. 33 2003. 10. 17 ~ 2003. 11. 23
 2003. 12. 25 ~ 2004. 2. 22



ACCESS

- J R 倉敷駅からタクシー 20分
- J R 倉敷駅からバス 25分
- 下電バス
 - 『ライフパーク倉敷行』 終点下車
 - 『市役所・古城池経由 J R 児島駅行』 ライフパーク倉敷入口下車
 - 『市役所・古城池経由 広江団地行』 ライフパーク倉敷下車
 - 『大高経由 J R 児島駅行』 福田中学校前下車 (徒歩15分)
- 国道2号線 菅沖交差点から車で15分 (古城池トンネルを抜けて最初の信号を左折)
- 瀬戸中央自動車道 水島ICから車で10分 (広江一丁目交差点を右折後, 最初の信号を右折)

倉敷科学センター
 〒712-8046 倉敷市福田町古新田940 ライフパーク倉敷
 TEL (086)454-0300 / FAX (086)454-0305
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/lifepark/ksc/>

KURASHIKI SCIENCE CENTER
倉敷科学センター

ガリレオが見た新しい世界

上映期間 / 10月17日(金) ~ 11月23日(日)
12月25日(木) ~ 2月22日(日)

今からおよそ400年前、人々が地球は宇宙の中心にあって決して動かないと信じていた時代に、地球は太陽のまわりを回る星の一つに過ぎないという地動説を主張したのがガリレオ=ガリレイです。

ガリレオは当時発明されたばかりの望遠鏡に大幅な改良を加えて、その望遠鏡を星空へ向けて次々に新しい発見をし、地動説の証拠を集めようとしてきました。

この番組では、現在の科学の基礎を築き、宇宙のしくみを理解しようとした、科学者ガリレオの素顔に迫ります。

46歳ごろのガリレオ
(木星の衛星を発見したころ)



ガリレオが作ったといわれる2本の望遠鏡
(フィレンツェ科学史博物館所蔵)

上の望遠鏡(長さ136cm)は倍率14倍、下の望遠鏡(長さ92cm)は倍率20倍です。ガリレオの望遠鏡は、当時世界でいちばんよく見える望遠鏡でした。

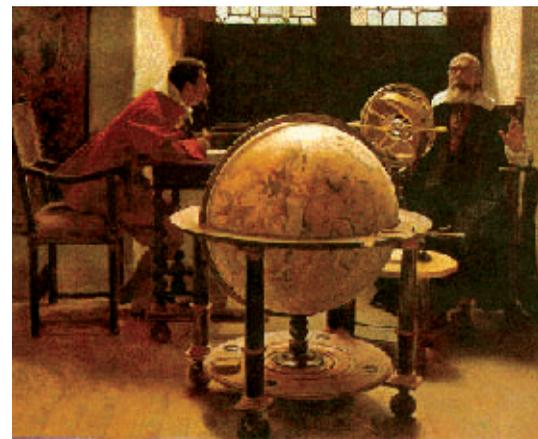
ガリレオ=ガリレイに関する年表

- 1543年 コペルニクスが「天球の回転について」を出版、地動説を発表
- 1564年 2月15日、イタリア北部のピサに生まれる
- 1586年 「小天秤」を出版、数学者として認められはじめる
- 1589年 ピサ大学の数学教授になる
- 1604年 へびつかい座に超新星が現れる
- 1609年 望遠鏡を改良して、天体観測を始める
- 1610年 木星に4つの衛星(現在の「ガリレオ衛星」)があることを発見
- 1616年 地動説を支持したことをとがめられ、警告を受ける
- 1632年 「天文対話」を出版
- 1633年 宗教裁判で終身刑が申しわたされ、自宅に軟禁される
- 1637年 目の病気にかかり、両目を失明
- 1638年 「新科学論議」をオランダで出版
- 1639年 ヴィヴィアーニを助手として迎え入れる
- 1642年 1月8日、アルチェトリで死去(77歳)
- 1992年 ローマ法王ヨハネ=パウロ2世が宗教裁判の誤りを認める

ガリレオ最後の弟子・ヴィヴィアーニ

ガリレオは現在の科学の基礎を築いた偉大な科学者ですが、数々の“伝説”が伝えられています。そのいくつかは、ガリレオ最後の弟子、ヴィンチェンツィオ=ヴィヴィアーニが、ガリレオの死後に出版した伝記に書き加えた話だといわれています。

ヴィヴィアーニはガリレオの研究を受け継いで物理学者・数学者として活躍、音速の測定や真空の実験をし、またサイクロイドと呼ばれる図形を研究しました。



ヴィヴィアーニ(左)に語りかけるガリレオ(右)

11月28日(金)~12月24日(水)は、クリスマス特別番組を放映します。次回のプラネタリウム新番組は、2月27日(金)よりスタートです。